



《 北米産大豆 》

米国大豆生育遅れ

アメリカ農務省は、7月24日現在の11年産米国産大豆の開花率、作柄状況を発表しました。それによると、開花率は、主要18州平均で60%（前年73%、平年68%）と、大幅に遅延している状況です。また、作柄につきましては、同じく主要18州平均で優・良比率62%（前年64%、平年67%）と悪化しております。これは、5月にコーンベルト東部を中心に土壤水分が高く、作付が遅延したことと、7月に入り高温乾燥状態になった影響と思われます。

シカゴの大豆相場は、例年同様に天候相場となっており、期近で、13ドル半ばから後半での取引となっております。

カナダ大豆も生育遅れ

現地、サプライヤーの情報では、オンタリオ州、ケベック州ともに、5月の低温と長雨によって大豆の作付が遅延し、6月中旬までかかった状況です。そのため、生育も2～3週間遅れで推移しており、収穫が遅れることも懸念されます。

また、作付終了後は天候が回復したものの、その後は、極端な乾燥状態に転じており、降雨が望まれる天候となっております。

大豆	作付面積 (1,000ha)	単収 (t/ha)	生産量 (1,000mt)
09～10	1,394	2.54	3,507
10～11 予測	1,483	2.94	4,345
11～12 予測	1,572	2.60	4,025

開花している状態



7/7現在



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 国産大豆 》

22年産7月の落札状況

平成22年産国産大豆の7月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数7,683.6トンで、落札が2,548.5トン、落札率が33.2%という結果となりました。先月同様に21年産と比較すると落札率、平均落札価格ともに上昇しました。

(前年7月の落札率は13.6%、前年7月の平均落札価格より60kg/133円高値)

また、6月と比較すると、落札率は、0.1ポイント上昇し、平均価格は、60kg/37円高くなりました。21産と比較すると、山形大粒エンレイは、60kg/約650円高、青森大粒おおすず、新潟大粒エンレイは、60kg/約450円高くなっております。

今年の入札も9月まで行われる予定です。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
12月	1,281.8 t	148.5 t	11.6%
1月	2,762.9 t	761.4 t	27.6%
2月	9,444.4 t	2,237.7 t	23.7%
3月	5,615.5 t	1,714.7 t	30.5%
4月	14,429.3 t	5,594.9 t	38.8%
5月	7,505.7 t	2,418.7 t	32.2%
6月	12,296.7 t	4,067.5 t	33.1%
6月	7,683.6 t	2,548.5 t	33.2%
累計	61,019.9 t	19,491.9 t	31.9%

《 大豆生育状況 》

23年産北海道スズマル

弊社の契約栽培先である北海道のとまこまい広域農協(厚真地区)の様子です。5/30に播種作業が終了。生育初期は雨が多かったものの、7月に入り、天候も好転し、順調に生育してきました。

除草中耕作業

7/13現在



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>